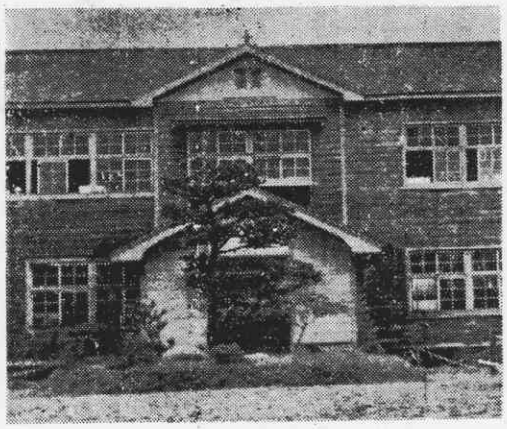
校友時報

第30号
発行所
秋田県立能代南高等学校
新聞部　電話254番
編集人　藤谷　隆男
印刷人　秋田活版印刷株式会社

本校創立二十六周年

伸び行く　能南高

記念行事も盛会裡に閉幕



本校年中行事の一つ―創立廿六年週記念行事は九月廿三日午前九時その幕が切って落された。夜来の雨もあがり好日和の下各文化部の全校生徒の展示発表展建会場をうづめ、同日午後二時から演劇と音楽の発表会が催され、廿三日は能市中学校弁論大会があり、わずか二日間であったが観客おしよせ、踏切事も眼前に迫り、秋陽西に傾く廿四日午後四時半をもって終止符を打った。

両日とも好天気に恵まれ、第一作）を公演、かつさいを博した廿日は五会場に分けての展覧会並びに三日の都市中学校弁論大会は午前に新聞部初の試みとして全職高校新聞展覧会、展覧会、新聞廿二日開われたが新聞展は全職二百余校の新聞を集め、それより厳選の結果一位は「試練と理想」と題した能梅中の富樫五代子に「校友時報の発展の跡」「新聞の出来るまで」や「市内職新聞展代一中が優勝して閉幕した。

中学校弁論大会

振う各中学校よりの十数名の弁士なかを掲示、職業の苦目を引いた廿二日午後二時からの演劇と音楽の発表会は、第一部、学生音楽研究会員に依る混声合唱「秋の夜」「一億円の庭」「川」の三曲をトップにアンサンブルの合奏、青木勇喜のギター独奏や一年女生徒有志による舞踊其の他多数の演目に依る「ドモ又の死」（青島武部原

第一位　「試練と理想」　能梅中　富樫五代子
第二位　「今こそ希望に生きろ」　能代一中　那須　秋男
第三位　「土に生きる」　能代一中　杉山比佐子
第四位　「よき選手たれ」　能中　畠山　重剛
第五位　「協力」　能一中　大塚　博

新聞は良識の窓

全県高校新聞コンクール

「校友時報」入賞

第四回新聞週間記念行事の一つ―秋田県新報社主催第一回秋田県学校新聞コンクールに於て、本部「校友時報」は「秋南高新聞」と並んで入賞、十月六日秋田魁本社講堂で表彰式を行い、賞状と記念品（一柱時計）を授与された。

このコンクールは全県高校十七紙、中学校九紙が参加し三名本社審査委員会で審査の結果決定したものである。

◎＝高校＝秋南高新聞（一）「創明」（校友時報）（能代南）
◎＝中学校＝六保田タイムス（一）坂中生徒新聞（一中タイムス（藤手）

正副委員長選挙

初まる

去る十月一日ホームルームの時間に、新たに選出された生徒会委員の中より後期正副委員長候補者次の五名が選出された

意気と熱で

大道を濶歩せん

着任に当り学校長言明

着任のまに全国三連覇の偉業を

藤原新校長は着任以来初めて新聞部に来訪を新聞部によせ〝意気と熱こそは総てに優先するものである〟と強調した。

溌溂たる体操の選手を迎えた。久しぶりに笑馬座ゆく建たけびの凱歌を聞いている中に自頭が熱くなることだが胸を張り天を衝く意気をまのあたりにしてそのたのもしさに感激したのである。然し諸君の中の一体生徒はこの意気に燃えて居るだろうか。胸を張って大道を濶歩する元気の物を身につけているだろうか。勉強や運動に強い無言と気力を打ち込んで自らを鍛えているだろうか。最近の試合では自他共に許す技能を持ちながら他校の気力に圧されて惜敗しているのではないだろうか。上品だとの批評は高調ではなくて軟弱としか受取るべき言葉である。

学生野球生徒の親である飛田穂洲氏のシートノックを見学した。打つ者も受ける者も全力を尽くしていたがふらふら立ち上って球を追う姿は手には加えられなかった。熱と意気を振い起させるコーチ振りを見て自分も選手と共に喜んだことがある。秋田に居た頃全県庭球大会の会場前の出来事であった。ガラス戸の外から曲って見える僕になったかどうかと。猛烈に勉強をすると同時に困難に堪える力を養わせるものであった。

今の世に聡明な生活を求めるのは難しいことではない。優れた技能を身につけているスポーツマンは数多い。然し頑求めて得難いのは強靭な精力を無く備えている生徒である。最後数年を経て最後事

★絶好の御買時★
あらゆる靴と鞄
タムラ
優良総ゴム靴、運動靴、修理、新調
常に良品廉価を目指している
タムラ　田村靴店

洋品　化粧品は
いつもよい品で
サービス本位
キタバヤシ
昌町

文房具は
皆様おなじみの
キムラヤで
昌町

雑誌参考書を
豊富に取揃えて
御来店をお待ちしております
昌町
一長堂書店
TEL五〇

参考書はいつでも
コウブン
鴻文堂へ
富町

編集余談

又秋の虫の声が耳を楽しませ、涼しき風さえ感ずる頃となった今年は昨年より早く十二月に学園適性検査を施行する事になり受験準備に油断ができない。▼なるほど入学試験も大切である。が決して学園は試験のために在るものでもないし、最終目的でもない。▼高校に入るや入試々々と追い廻され、入試の怒濤で成つべきを過ぎたが疲れ打つ手は止まらなかつた打つ音を聞くと匪に手足を動かしていたがふらふら立ち上って球を追う姿は手には加えられなかつた。熱と意気を振い起させるコーチ振りを見て自分も選手と共に喜んだことがある。秋田に居た頃全県庭球大会の会場前の出来事であった。ガラス戸の外から曲って見える僕になったかどうかと。猛烈に勉強をすると同時に困難に堪える力を養わせるものであった。

今の世に聡明な生活を求めるのは難しいことではない。優れた技能を身につけているスポーツマンは数多い。然し頑求めて得難いのは強靭な精力を無く備えている生徒である。最後数年を経て最後事業もよくなり人心も乾ちついたむかし大学選手の過もスポーツの優勝も次第に狭き門になって来た。戦前に比べて就会は百難に満ち誘惑が多く競争が激しいがこれは敗戦国民に課せられた運命である。何義和団優国家の独立精神が燃っている限り幾多の難関が横っているこれ等の難関を打ち破るにはまさしく精神の強靭と熱に欠ける所があるならばこれ等の難路をどうして切み越えることが出来よう。意気と熱こそは越て優先するものである。諸君よ本校生徒としての誇りを胸って胸を張り堂々と大道を濶歩しようではないか。濶歩出来る様に大いに練磨ろうではないか

部告

部長主井彦有君は一身上の都合により八月二十五日付をもって退部致しました。

本校にボート部設置？

問題は整備の費用と場所

本校運動部躍進の途上に当り、ので川にボート部を設置したいという意見が出、結局能代に合同の部が立った訳だ。

最近本荘高校よりボートが贈られるという話が一部新聞に出ておりボート部設置の要望である（T）この話は新聞に載せられた様な本荘高では共用のボートが有るので容易にできない。

市内の高等学校で共有して貰い又場所の問題があるので容易で面白かったら、将来部として発足してもよいだろう。因みに

× × ×

問題のかぎは艇庫でこれが相当の費用を要するし、又場所の選定が困難である。